

東熊会会員による「里帰り講話」概要

日時 平成29年9月11日(月) 15:50~16:50

場所 牛深高等学校 体育館

対象 牛深高等学校全校生徒、教職員等

講師 江上 知剛 様(双日食料水産株式会社 社長)

参加者 182人(生徒162人、教職員20人)

テーマ 「社会人になる前に必要な力について」

【講演概要】

1. 導入

牛深小学校出身なので校歌を歌います。最後の歌詞が今と違っている。昔は、3000人近くの児童がいたが、現在は牛深の人口が減って歌詞が変更されている。

2. 「総合商社」という仕事について

「商社」という仕事は高校生にはなじみが薄いですが、たとえば、「NIKE」など、誰でも知っているブランドも双日という総合商社の力で有名になっていった。船舶や貴金属から、ユニクロや震災復興まで、幅広い活動を行っている。

3. ブラジルについて

ブラジルでは、サトウキビからとれるエタノールで車を走らせている。サンパウロには日本人(日系移民)が160万人もいる。若い人にはいろいろな国を見てほしい。外国を見ることで、さまざまなことを知るだけでなく、日本人の素晴らしさがわかる。日本では、災害が起きても暴動が起きない。街を歩いていてもゴミが落ちていない。日本の新幹線の掃除の素早さは「7分間の奇跡」と呼ばれるが、掃除がすごいのではなく、ゴミを日本人が出さないことがすごい。ブラジルから帰ってきて、日本の教育がいかに行き届いているかを実感した。私たちが当たり前だと感じていることは、実は教育のたまものであり、日本が誇るべきことである。

4. 企業が求める人材について

企業は、企業理念に合致している生徒・学生を選ぶ。エントリーシートは読む人を意識して書くことが大切。面接はコミュニケーションである。丸暗記した内容をはなすとすぐにわかってしまう。自分の素を出し、自分の考えを持って話すことが大切である。作為的ではなく、正直で誠実に就職活動を行っていくことが重要。そこで、この企業で働きたいという意欲をしっかりと見せることが大切である。また、自分の好きな仕事に就くためには、何事も「まめにやる」ことが大事である。1つ1つの作業を誠実に、まめに行っていくことで、チャンスが訪れる。